

# 日本語の接続表現「とはいえ」構文の意味・用法について

金 勝 漢\*

## 1. はじめに

日本語の接続表現は大変数が多く、その意味・用法がよく似ているものもある。逆接続表現の場合だけでも、「が・けれども・のに・ものの・つつ(も)・ながら(も)・とはいえ」などのような類似表現がある。このような類似表現の使い分けの研究は日本語教育において非常に重要な課題である。

(1) 大学で古典を専攻したとはいえ、源氏物語もろくに読めない。

(接続の表現：63)

(1) で、「とはいえ」は、従属節の事柄「大学で古典を専攻した」と主節の事柄「源氏物語もろくに読めない」を繋ぎ合わせる役割をしている。つまり、「とはいえ」は接続助詞のように用いられている。

この「とはいえ」は新聞、雑誌、文学作品など、主に書き言葉としてよく使われている接続表現であるが、これについての研究はあまり行われていない。

そこで、本稿では接続表現「とはいえ」の意味・用法について考察することにする。

## 2. 「とはいえ」の従属節

接続助詞に接続する語句には、その接続助詞ごとに制約が見られる。「とはいえ」に接続する語句について考えてみたい。

---

\* 제주대학교 일어일문학과 교수

## 2.1 述語の活用形

- (2)建設は公共事業の追い風があるとはいえ、民間建設需要の低迷で受注高が伸び悩んでいる。  
(日経新聞「以下、日経」、910929)
- (3)途上国の(二酸化炭素)排出量は相対的に少ないとはいえ、経済発展を促すには、一次エネルギー消費を増大せざるを得ない状況にある。  
(朝日新聞「以下、朝日」、910614)
- (4)いくら人間が愚かだとはいえ、バブル経済を再現してはならない。  
(産経新聞「以下、産経」、920202)
- (5)留学生問題が重要案件であるとはいえ、他の文教予算を犠牲にするのは同省にとって痛しかゆした。  
(日経、880818)
- (6)人間の食行動はもつと複雑だとはいえ、ある程度は同じ傾向があるはずだ。  
(毎日新聞「以下、毎日」、950419)

(2~6)のように、「とはいえ」は、「ある・少ない・愚かだ・重要案件である・複雑だ」に接続している。つまり、「とはいえ」は、動詞・形容詞・形容動詞・判定詞「である・だ」の終止形に接続できる。判定詞の場合は、新聞・文学作品などの実例を調べて見た結果、「だ」より「である」のほうが多く現れた。

## 2.2 テンスとアスペクト

- (7)現に、東京特別区では無所属議員は増えたとはいえ、公明、共産党を下回り、自民の三分の一にとどまっている。  
(毎日、950427)
- (8)(二酸化炭素排出規制)石油資本が抵抗しているとはいえ、国際政治は環境保護産業の育成に向かっている。  
(毎日、950408)
- (9)IRの専任担当者を置く企業が増えてきたとはいえ、「アイアール」は日本ではまだ新しい概念だ。  
(日経、950630)
- (10)(公的資金の導入)総論について世論が賛成に回りつつあるとは言え、具体論においては世論の感じはまだほとんどつかめていない。  
(毎日、950629)

(7~10)のように、「とはいえ」は、テンスの「た」とアスペクトの「ている・てくる・つつある」のような要素に接続することができる。

## 2.3 ムード<sup>1)</sup>

- (11)建設は公共事業の追い風があるとはいえ、民間建設需要の低迷で受注高が伸び悩んでいる。 (日経,910929)
- (12)(カツオの輸入量)国内のものの一割にも満たないとはいえ、前年の八倍という大きな伸びとなっている。 (朝日,920125)
- (13)(〇〇大学の入試ミス)学部の自治は尊重されるべきだとはいえ、責任所在はどこにあるのか。 (朝日,010703)

(11・12)のような「確言・否定」のムードに接続する例は多かった。しかし、(13)のように「当為」の「べきだ」に接続するのはまれな例であった。また、「とはいえ」が「疑問・命令・禁止・依頼・意志・勧誘・願望・概言・説明・比況」のようなムードに接続する実例は見つからなかった。それで、「とはいえ」は、非常に限られたムード表現にしか接続しないと見えよう。

## 2.4 その他の要素

- (14)今、学校で古典を習っている。文語体とはいえ、今の日本語とほとんど違う。 (毎日,950712)
- (15)(阿片)専売によって国庫収入をはかるためとはいえ、お話にならない高価なのだ。 (人民は弱し官吏は強し,p19)
- (16)しかしながら政争に負けた長井利隆は、所領、地域こそそのままとはいえ、この加納城で、鬱々とくらしているのである。 (国盗り物語・一,p228)
- (17)もっとも、不法移民を生み出すのはメキシコ政府の失政が原因だし、干ばつも天候のせいとはいえ、これまで地方と農民を軽視してきたツケが被害を大きくしているといえるだろう。 (毎日,950526)
- (18)それにしても、いくら気のぬける郷里の友人にととはいえ、彼がこういうことを言ったというのは、ちょっと不思議な気がするが、---- (山本五十六,p35)
- (19)「漢の国土に対する愛情」を失わぬ不屈な行動人蘇武に対照して、やむを得ぬ周囲の状況からとはいえ、士人としての面目を捨て、却って胡土に生きる勇士で

1) 益岡隆志・田窪行則(1993)、「基礎日本語文法(改訂版)」,くろしお出版 pp117-134 参照

あるが、心情的に弱い李陵の動揺する心理が追求される。

(李陵・山月記・解説、p178)

(20)しかし、フランスの習慣に従ったまでとはいえ、彼(ミラン・クンデラ)がいつも私のことを、手紙やファクスで「親しい友」とか「親愛なるヨシナリ」などと呼んでくれるので、それに甘えて、ここでは一時的に、わが友ということにさせていただく。

(日経、950704)

(21)(ASEAN外相会議)今年は特に、ベトナムが米国と国交正常化を果たし、マンマーもアウン・サン・スー・チーさんの軟禁解除で少しずつとはいえ、民主化を強めるなど、----

(毎日、950723)

(22)いくら夜遊び続きで疲れているからとはいえ、こんな時に欠伸ができる「彼」の神経に驚いたのだ。

(エディプスの恋人、p211)

(23)確かに今回、与党三党はぎりぎりとはいえ、一応改選議席の過半数を確保した。

(毎日、950725)

(14)は、「名詞」に接続する例であり、(15~17)の場合は、「ため・まま・せい」のような「形式名詞」に接続する例である。また、「とはいえ」は、(18・19)の「に・から」のような「格助詞」、(20・21)の「まで・ずつ」のような「副助詞」、(22)の「から」のような「接続助詞」などにも接続している。それに、(23)の「ぎりぎり」のような「副詞」にも接続する。

このように、「とはいえ」は「述語の終止形・テンス・アスペクト・ムード」の他にも、「名詞・形式名詞・格助詞・副助詞・接続助詞・副詞」など、いろいろな語句に接続することができる。

### 3. 「とはいえ」の主節の文末表現

接続助詞が従属節と主節を繋ぎ合わせる時、従属節だけでなく「主節の文末表現」にも制約が見られる。接続助詞によって、「主節の文末表現」が制約される現象は、その接続助詞の文法的な特徴によるものであると考えられる。

接続助詞「とはいえ」の「主節の文末表現」について調べてみることにする。

### 3.1 テンスとアスペクト

(24) 中断している日朝国交正常化交渉の再開に向けた環境が整うとはいえ、国交正常化交渉本番へ課題を残した。 (日経、950630)

(25) (二酸化炭素排出規制)石油資本が抵抗しているとはいえ、国際政治は環境保護産業の育成に向かっている。 (毎日、950408)

(26) (日系人の雇用)だが、一方で同じ日本人の血がひくとはいえ、違う社会で育った日系人を受け入れることは、中部圏の国際化に大きなインパクトを与えつつある。 (日経、920206)

(24~26)のように、「とはいえ」の主節にはテンスの「た」、アスペクトの「ている・つつある」が現れている。

### 3.2 ムード

#### 3.2.1 確言・否定

(27) I Rの専任担当者を置く企業が増えてきたとはいえ、「アイアール」は日本ではまだ新しい概念だ。 (日経、950630)

(28) (公的資金の導入)総論について世論が賛成に回りつつあるとは言え、具体論においては世論の感じはまだほとんどつかめていない。 (毎日、950629)

(27・28)は、「(概念)だ・ていない」のように、「とはいえ」節の文末のムードが「確言・否定」の表現の例文である。

#### 3.2.2 概言

(29) 立ち直ったとはいえ、将来も、彼が私の夢の対象になり得ることは決してないだろう。 (冬の旅、p512)

(30) (任天堂のシアトル・マリナーズ買収)時間的に制約があったとはいえ、早く公表してしまったこの買収話の今後は大変であろう。

(読売新聞「以下、読売」、920125)

- (31) 五郎様、六郎様が、いかに政道に不満ありとはいえ、他国の兵を導きよせてくるような不忠はなざるまい (国盗り物語・二、p215)
- (32) (株主総会) 特定日に集中する傾向は依然根強いとはいえ、「株主重視」の姿勢から集中日を外す傾向は強まりつつあるようだ。 (毎日、010616)
- (33) テロの翌日は、一日家に籠もっていた。直接の被害を受けていないとはいえ、やはり気付かないうちにかなりのストレスを感じていたらしい。 (朝日、010924)
- (34) 全体像が描かれていないとはいえ、一連の水俣病訴訟での初の和解案で、同高裁同様に和解を勧告した東京、熊本両地域などの協議にも大きな影響を与えそうだ。 (産経、920206)
- (35) (万博主会場) 環境問題に揺れ、大幅に縮小したとはいえ、「自然の叡智(えいち)のテーマを具現化する象徴的な会場」とするはずだった。 (朝日、001121)
- (36) 天下に英雄豪傑が雲のごとくむらがり出ているとはいえ、信長ほど端的で率直に天下統一の野望を持っている男はあるいはないかもしれない。 (国盗り物語・四、p7)

「とはいえ」構文の主節の文末には、(29~36)での「だろう・であろう・ようだ・らしい・そうだ(様態)・まい・はずだ・かもしれない」などのような概言のムードが現れることができる。

### 3.2.3 当為

- (37) 劣化ウラン弾が少量とはいえ、人体に影響を及ぼすのなら、こうした武器は廃絶されるべきだ。 (毎日、020530)
- (38) いかに深芳野が頼芸から寵愛をうけているとはいえ、この主人の身に大きな傷がついてしまったことだ。 (国盗りものがたり・一、p355)
- (39) (芥川竜之介の未発表俳句) 句数を争った矢数俳諧とはいえ、芥川俳句の力量を示すものだ。 (毎日、001116)
- (40) 共同声明を出すところまでいかず、前途は厳しいとはいえ、カンボジア国民や隣接するタイの住民の不安を根本的に取り除くために自主解決への歩みは、関係国すべてが大切にせねばならない。 (読売、881207)

(39~40)での「べきだ・ことだ・ものだ・なければならない」ような表現は「当為」であ

る。このように、「とはいえ」の文末には当為のムードも現れる。

### 3.2.4 説明・希望

(41)(土屋さん)参院議員の任期を三年も残して渡ろうとする危ない橋。議長を務め上げて党最高顧問になったとはいえ、党政治の中枢にいるわけではない。

(毎日、920125)

(42)自分の専門外であるとはいえ、彼が服用させた麻酔薬が招いた結果を彼はまだ手を束ねて見ていたのだ。

(華岡青洲の妻、p191)

(43)(国連の人種隔離政策の指弾決議) 総会決議に強制力はないとはいえ、この決議を、経済大国日本が国際社会での行動をどう律してゆくべきかを考えさせるものとして謙虚に受け止めたい。

(読売、881207)

(44)象徴的存在とはいえ、(アフガニスタンのザヒル・シャー) 元国王はカルザイ議長とともに新国家建設に貢献してほしい。

(産経、020528)

(41・42)の「わけではない・のだ」は「説明」の表現であり、(43・44)の「たい・ほしい」は「希望」の表現である。

### 3.2.5 命令・禁止

(45)金持ちと結婚したとはいえ、愛は大切にしなさい。

(市川2000:17)

(46)いくら人間が愚かだとはいえ、バブル経済を再現してはならない。

(産経、920202)

(45)の「なさい」は命令の表現であり、(46)「てはならない」は禁止の表現である。しかし、「動詞の命令形」による命令表現と「終助詞「な」」による禁止表現が、「とはいえ」節の文末に現れる実例は見つからなかった。

このように、「とはいえ」構文の主節の文末表現には、「確言・否定・概言・当為・説明・希望・命令・禁止」は現れているが、「動詞の命令形・依頼・意志・勧誘・伝聞・比況」などのような表現の実例は見つからなかった。

### 3.3 終助詞

(47)まだ試合をしていないとはいえ、そのあこがれのアメリカに行ってすごさか感じたことはありますか。  
(朝日、010718)

(48)この作品は編集盤とはいえ、久しぶりにあたらしいAOR路線の作品ですね。  
(産経、020528)

(49)なにやら面映(おもは)ゆいな。おぬしはいかに物持とはいえ、そのように気を使うとも  
らわずともよいぞ。  
(国盗り物語・一、p238)

(50)それにしても、いくら診察とはいえ、若いお医者さまに漆頭など抑こまれて開かされ  
たんじゃかないませんよね。  
(花埋み、p59)

「とはいえ」の文末には「テンス・アスペクト・ムード」のような要素以外にも、(47~50)のように、終助詞「か・ね・ぞ・よね」も現れた。

「2と3」での、「とはいえ」が接続する従属節の文法的要素と、「とはいえ」節の文末の文法的要素をまとめて図示すると、次のようである<sup>2)</sup>。

文法要素	テンス	アスペクト	確言	否定	概言	当為	説明	希望	命令	禁止	終助詞
従属節	○	○	○	○	×	△	×	×	×	×	×
主 節	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 4. 「とはいえ」の意味特徴

### 4.1 逆接

#### 4.1.1 肯定と否定の対立による

(51)大学で古典を専攻したとはいえ、源氏物語もろくに読めない。(接続の表現：63)

(52)(公的資金の導入)総論について世論が賛成に回りつつあるとは言え、具体論に

2) 当為に「とはいえ」節が接続するのは、例文(13)の「べきだ」のように1例しか見られなかったため、従属節の当為には△にした。



おいては世論の感じはまだほとんどつかめていない。 (毎日、950629)

(53)意図を悟ったとはいえ、七瀬は、実際に「彼女」がどうやって自分と入れ替えろ  
うとしているのか迄には考え及ばなかったのだ。 (エディプスの恋人、p196)

(54)(カツオの輸入量)国内のものの一割にも満たないとはいえ、前年の八倍という大き  
な伸びとなっている。 (朝日、920125)

(51~53)の場合、従属節の事柄「古典を専攻する・世論が賛成に回る・意図を悟る」と主節の事柄「源氏物語も読めない・感じはつかめていない・考え及ばない」は、それぞれ肯定と否定が対立する例である。また、(54)の場合は、従属節の事柄「一割にも満たない」と主節の事柄「大きな伸びとなっている」のように、否定と肯定が対立している。

このように、従属節の事柄と主節の事柄が「肯定と否定」または「否定と肯定」に対立していると、その「とはいえ」節の意味関係は逆接になる。

#### 4.1.2 意味的対立による逆接

逆接条件というのは、先行叙述内容によって示される事柄を条件として、むしろ予期されな  
い事柄が成立するという、理の逆を行く因果関係を示すものである<sup>3)</sup>。

(55) 2人に1人までに普及した携帯電話は、契約数の伸び率がやや落ちたとはいえ、I  
Tビジネスの花形であることに変わりはない。 (朝日、020212)

(56)駐妻は日本から離れているので、面倒な親戚付き合いや、冠婚葬祭から開放さ  
れてかなり気楽に生活しているとはいえ、悩みもあります。英語の悩みは、----  
(朝日、011210)

(57)(米企業の人員削減数)2月は前月比で大幅減だったとはいえ、「雇用環境が  
好転したとは言えない」という (日経、020530)

(55~57)で、従属節の事柄の条件から、期待される順当な成りゆきの主節の事柄は、それ  
ぞれ「伸び率がやや落ちたならば、I Tビジネスの花形ではない」「気楽に生活しているな  
らば、悩みもない」「人員削減数が大幅減だったならば、雇用環境が好転したと言える」と  
なる。しかし、(55~57)の場合は、順当な成り行きではなく、二つの事柄の矛盾を示すので逆

3) 渡辺 実(1971)、「国語構文論」、塙書房、p289 参照

接を表す。

このような「とはいえ」構文は、「～という」の性格から、一般性、客観性を表面に出し、それは（一般的/客観的に見て）事実として認めるが、「それでもなお」「それはそうなのだが」という意味を表す<sup>4)</sup>。

## 4.2 不十分

(58)現に、東京特別区では無所属議員は増えたとはいえ、公明、共産党を下回り、自民党の三分の一にとどまっている。  
(毎日、950427)

(59)(新潟県の進学率)大学や短大への進学率は36.4%で、なんと全国38位。下から2番目の46位だった93年の約1.5倍に増えたとはいえ、全国平均の45.1%にも遠く及ばないではないか。  
(朝日、020531)

(60)「もちろん、いくらデジタルの技術が進んだとはいえ、本物の価値には及びません。」  
(朝日、020215)

「とはいえ」構文にも、「ものの」構文同様、表現者(書き手・話し手)が目指している目標がある<sup>5)</sup>と思われる。(58～60)の表現者のそれぞれの目標は、「無所属議員が増えること」「大学の進学率が増えること」「デジタルの技術が進むこと」である。主節のそれぞれの事柄「公明、共産党を下回り、自民党の三分の一にとどまっている」「全国平均の45.1%にも遠く及ばない」「本物の価値には及ばない」は、その目標でまだ足りない部分を示していると思われる。

このように、(58～60)で、表現者の意図は一応評価はしているものの、全般的にはまだ不十分であることを表していると言えよう。

## 4.3 補足

(61)子供たちも雪になれているとはいえ、これほどの大雪は生まれて初めての体験である。  
(朝日、020120)

4) 市川保子(1999)、「複文の発話における接続語の選択基準」『東京大学留学生センター 紀要』(9)、東京大学留学生センター、p13

5) 金勝漢(1994)、「日本語の接続助詞“ものの”の構文をめぐって」『済州大学校論文集』(39)、済州大学校、p174

- (62) I Rの専任担当者を置く企業が増えてきたとはいえ、「アイアール」は日本ではまだ新しい概念だ。  
(日経、950630)
- (63)(能楽専門出版社の檜社長)能楽出版の家に生まれたとはいえ、つい三年前までは銀行員をしていた。  
(産経、020528)
- (64)荻原の飛躍順は日本の2番目。各国のエース級がそろう4番手は高橋に譲る。復調の気配があるとはいえ、余計な重圧でジャンプを乱すことがないように配慮した順番でもある。  
(朝日、020216)

(61~63)で、従属節のそれぞれの事柄「子供たちも雪になれている」「I Rの専任担当者を置く企業が増えてきた」「能楽出版の家に生まれた」と、主節のそれぞれの事柄「これほどの大雪は生まれて初めての体験である」「アイアールは日本ではまだ新しい概念だ」「つい三年前までは銀行員をしていた」は、二つの事柄の矛盾を示すものではないと思われる。つまり、(61~63)の従属節の事柄と主節の事柄は逆接の関係ではなく、補足を示している。(64)の「とはいえ」も補足を示している例である。

この補足の用法は、主節の内容が従属節の内容を補足することになるか、または従属節の内容につけ加わることになる。

これは、「とはいえ」だけでなく、接続助詞「が・ものの」にもある用法である<sup>6)</sup>。

#### 4.4 題目・場面の説明

- (65)(国連の人種隔離政策の指弾決議) 総会決議に強制力はないとはいえ、この決議を、経済大国日本が国際社会での行動をどう律してゆくべきかを考えさせるものとして謙虚に受け止めたい。  
(読売、881207)
- (66)北方領土問題に前向きに姿勢を示しているとはいえ、その処理をめぐってはエリツィン大統領の五段階返還論やコースイレフ・ロシア共和国外相らの二島返還論などさまざまな意見があり----
- (朝日、911003)
- (67)アームコ - 川崎製鉄、L T V - 住友金属工業などの日米合弁事業は、もともと米産業救済の色彩が強かったとはいえ、どこの合弁会社も業績は低迷が続いている。  
(朝日、910614)

6) 金勝漢(1994)、p175

国立国語研究所(1951)、「現代語の助詞・助動詞 一用例と実例一」、秀夫出版、p22

(68)人物描写に重点を置いたとはいえ、そこはアクション監督(レニー・ハーリン)の雄。  
(産経、020528)

題目・場面が従属節に示され、それが主節において説明される用法である。この用法の特徴は、従属節の題目・場面を指し示す「この・その・どこ・そこ」のような指示語が主節に現れることである。

(65~68)で、主節の指示語「この・その・どこ・そこ」の代わりに、従属節の題目と場面を入れ替えると、

(65)a.(国連の)総会の決議を、経済大国日本が国際社会での行動をどう律してゆくべきかを考えさせるものとして謙虚に受け止めたい。

(66)a.北方領土の処理をめぐってはエリツイン大統領の五段階返還論やコースレフ・ロシア共和国外相らの二島返還論などさまざまな意見があり----

(67)a.アームコ - 川崎製鉄、LTV - 住友金属工業の合併会社も業績は低迷が続いている。

(68)a.人物描写に重点を置いたことはアクション監督(レニー・ハーリン)の雄。

ようになる。

(65~67)は題目の説明であり、(68)は場面の説明である。

## 5、「とはいえ」構文と副詞

### 5.1 副詞「いくら・いかに・たとえ」

(69)いくら人生が残り少ないとはいえ、まったく眠らないでひと晩起きているわけにもいかない。  
(世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド、p263)

(70)海岸は近いのだ。それにいくら体力が消耗しているとはいえ、水泳にはかなり自信があった。  
(榆家の人びと・下、p387)

(71)いかに小さな姫だとはいえ、竹の中から見つけられるのだから、真竹では少々窮屈だろうと、それなりに理性的な結論を出したのだ。  
(日経、950709)

- (72) いかに健全な経営だったとはいえ、銀行と無関係に今後の経営をつづけてゆくのは容易ではない。  
(人民は弱し官吏は強し、p240)
- (73) たとえ知らなかったとはいえ、会社の持ち物であるマンションを担保に五百万円もの借金をし、それを親類が使っていたとなったら、必ずや責任を取って辞職すると言い出すのは目に見えている  
(女社長に乾杯！・下、p27)
- (74) たとえ顔みしりだとはいえ、何時何分という局限された特定の時間に男女と一緒に歩かせるような細工を、どうしてあらかじめ工作することができたか。  
(点と線・解説、p233)

(69~74)は、「とはいえ」節の従属節に、「いくら・いかに・たとえ」のような副詞が現れる場合である。つまり、「とはいえ」構文と副詞「いくら・いかに・たとえ」はよくなじむ。(69~74)の構文で、副詞「いくら・いかに・たとえ」がなくても、従属節の事柄と主節の事柄は、二つの事柄の矛盾を示すので逆接を表す。

「いくら・いかに・たとえ」の共通的な意味特徴は、強調の意を表すことである。(69~74)のように、「とはいえ」節の従属節の事柄が「いくら・いかに・たとえ」を伴うことによって、その事柄が強調されると思われる。このように、「いくら・いかに・たとえ」を伴う「とはいえ」構文の従属節の事柄と主節の事柄は、逆接の色合いがさらにつよくなるだろう。

## 5.2 その他の副詞

- (75) まだ少数ないとはいえ、日本人の野球選手たちが言葉などのハンディを乗り越えて、アメリカ国内で活躍していることは喜ばしい。  
(朝日、020405)
- (76) 地方自治体の役場の中の電子化については、まだまだ紙を使った伝達や会議が多いとはいえ、コンピューターやLANが整備され、それらを使って業務を行うようになりつつあります。  
(朝日、020531)
- (77) わずか七ヶ月前であったとはいえ、この家のあるじだったのはひどく昔のように思える。  
(国盗り物語・一、p281)
- (78) あんなに唐突に生まれた想念であったとはいえ、金閣を焼くという考えは、仕立卸しの洋服か何ぞのように、つくづくびつたりと私の身についた。  
(金閣寺、p215)

(75~77)の場合は、「まだ・まだまだ・わずか」のように、マイナス評価を表す副詞が用

いられている。(78)の「あんなに」は事柄を強調している。「まだ・まだまだ・わずか・あんなに」のような語句が使われることによって、逆接の意味がより明瞭になると思われる。

## 6. まとめ

「とはいえ」構文の意味・用法について考察したことをまとめてみると、次のようになる。

- (1) 「とはいえ」の従属節には、「テンス・アスペクト・確言・否定」は現れるが、「とはいえ」が「疑問・命令・禁止・依頼・意志・勧誘・願望・概言・説明・比況」のようなムードに接続する実例は見つからなかった。
- (2) 主節の文末表現には、「確言・否定・疑問・概言・当為・命令・禁止・説明・希望」のムードは現れるが、「動詞の命令形・依頼・意志・勧誘・比況」などのムードの実例は見つからなかった。
- (3) 「とはいえ」の意味を、「逆接・不十分・補足・題目と場面の説明」などに分けてみた。特に、「題目と場面の説明」の場合は、その従属節の題目・場面を示す指示語が主節に現れる。
- (4) 強調の意を表す副詞「いくら・いかに・たとえ」が「とはいえ」節に使われると、逆接の意味がより明瞭になる。

## 参考文献

- 渡辺 実(1971)、『国語構文論』、塙書房
- 松村 明(1971)、『日本文法大辞典』、明治書院
- 文化庁(1975)、『外国人のための基本語用例辞典』(第二版)、大蔵省印刷局
- 国立国語研究所(1951)、『現代語の助詞・助動詞 一用例と実例一』、秀夫出版
- 日本語教育学会編(1982)、『日本語教育事典』、大修館書店
- 森田良行(1980)、『基礎日本語1・2』、角川書店
- 益岡隆志・田窪行則(1993)、『基礎日本語文法(改訂版)』、くろしお出版
- 横林宙世・下村彰子(1988)、『接続の表現』、荒竹出版
- 茅野直子他(1987)、『副詞』、荒竹出版
- 市川 孝(1978)、『国語教育のための文章論概説』、教育出版
- 石黒 圭(1999)、『逆接の基本的性格と表現価値』『国語学』(198)、日本国語学会
- 近藤泰弘(1988)、『逆接』『研究資料日本古典文学(12)・文法』山口明穂他、明治書院
- 佐藤信夫(1983)、『逆説という修辞現象』中村明編『講座日本語の表現5・日本語のレトリック』、筑摩書房
- 西原鈴子(1985)、『逆接表現における三つのパターン』『日本語教育』(56号)、日本語教育学会
- 市川保子(1999)、『複文の発話における接続語の選択基準』『東京大学留学生センター紀要』(9)、東京大学留学生センター
- 市川保子(2000)、『外国人学習者のための「接続語」使い分け分類表作成の試み(2)』『東京大学留学生センター紀要』(10)、東京大学留学生センター
- 松木正恵(1996)、『引用の形式をとる複合辞について』『学術研究(国語学・国文学編)』(44)、早稲田大学教育学部
- 丹羽哲也(1998)、『逆接を表す接続助詞の諸相』『人文研究』(50-10)、大阪市立大学文学部
- 金勝漢(1994)、『日本語の接続助詞“ものの”の構文をめぐって』『済州大学校論文集』(39)、済州大学校
- 金勝漢(1999)、『日本語の接続助詞“つつ(も)”の意味・用法について』『人文学研究』(5)、済州大学校人文科学研究所

## 用例出典

読売新聞、朝日新聞、日経新聞、産経新聞、毎日新聞

司馬遼太郎、「国盗り物語・一・四」（新潮文庫）、新潮社、1971

行吉佐和子、「華岡青洲の妻」（新潮文庫）、新潮社、1970

瀬沼茂樹、「解説」『李陵・山月記』中島敦（新潮文庫）、新潮社、1969

星新一、「人民は弱し 官吏は強し」（新潮文庫）、新潮社、1978

阿川弘之、「山本五十六」（新潮文庫）、新潮社、1973

立原正秋、「冬の旅」（新潮文庫）、新潮社、1971

渡辺淳一、「花埋み」（新潮文庫）、新潮社、1975

筒井康隆、「エディプスの恋人」（新潮文庫）、新潮社、1981

村上春樹、「世界の終わり」とハードボイルド・ワンダーランド」（新潮文庫）、新潮社、

1988

北杜夫、「検家の人びと・下」（新潮文庫）、新潮社、1971

松本清張、「点と線」（新潮文庫）、新潮社、1971

赤川次郎、「女社長に乾杯！」（新潮文庫）、新潮社、1984

三島由紀夫、「金閣寺」（新潮文庫）、新潮社、1960